

研究種目：基盤研究(B)
研究期間：平成 18 年度～平成 21 年度
課題番号：18320118
研究課題名(和文) 近現代中国江南の総合的研究—近 100 年間の人材的政治経済的發展
基盤
研究課題名(英文) Historical Research on Human Resources in 20th-Century Jiangnan,
China: Politics and Economy
研究代表者
高田 幸男 (TAKADA YUKIO)
明治大学・文学部・准教授
90257121

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：中国近現代史、地域社会史、人材育成、地域開発、

1. 研究計画の概要

中国江南地方の過去 100 年間の経済的發展、政治的社会的変容の社会文化的基盤、とくにマンパワーの歴史的蓄積に着目し、総合的に分析をおこなう。とくに省一市・県一郷・鎮という多層構造の中で、政治・経済・社会諸分野における人材がどのように形成され、またネットワークを形成してきたのかの解明に重点を置く。

(1) 中国の南京大学および浙江大学との共同研究により、江南各地区において 1940～50 年代を中心とする地域の政治・経済・社会の変容や人材育成について聴き取り調査をおこなう。

(2) 1910～30 年代の未公刊史料を収集・講読して当時の地域社会や人材基盤について分析をおこなうほか、研究会、シンポジウム等を開催して、研究交流を促進する。

2. 研究の進捗状況

(1) 平成 18 年度に南京大学歴史系および浙江大学中国近現代史研究所と共同研究の協定を結び、杭州市の浙江大学において学術討論会を開催し、調査の前提となる南京大学・浙江大学との共通認識を構築した。ついで、平成 19 年度には、江蘇省蘇州市の 4 地区および無錫市で計 32 人の聴き取り調査をおこなった。平成 20 年度には、杭州市の 3 地区および紹興市で計 39 人の聴き取り調査をおこなった。

(2) 平成 18 年度より江蘇省崇明県の地域エリートの日記を講読し、1916 年、1917 年、

1919 年、1920 年を読解した。

また、聴き取り調査の準備を兼ねて、南京大学・浙江大学と杭州でシンポジウムを開催したほか、関連するテーマを研究会で報告・議論した。

さらに聴き取り調査を経験する中で、調査の進め方、個人情報でもある調査記録の利用方法などを検討する必要性が生まれ、平成 20 年度に同じく社会調査や聴き取り調査をおこなう中国研究者を招聘してワークショップを開催した。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。
(理由)

中国において地域社会の中堅層である教員や工場管理者等に対する聴き取り調査が実際に可能であるか、未知数であったが、実際には、南京大学・浙江大学をはじめとする中国側の周到な準備によって、2 年間で 70 人を超える調査記録を得ることができた。

インフォーマントも率直に自身の経歴や見聞を語ってくれ、抗日戦争期から中華人民共和国成立初期にいたる各地の状況が浮かび上がってきた。さらに中国側の協力を得て記録を整理した。

地域エリートの日記の講読会は、手書きの日記を手探りで読み始めたが、郷里各界との関係、江南各地との関係、中央官界との関係が如実に示されており、予想以上の成果が上がっている。

また、杭州のシンポジウムの内容は雑誌『近きに在りて』第 52 号の「特集：江南百年の研究」にまとめることができた。

さらに、第 1 回聴き取り調査の経験から、

平成 20 年度のワークショップを開催するに
いたったことは予想外の成果であった。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 最終年度である平成 21 年度は、2 回に
わたる聴き取り調査の経験・成果にもとづい
て、両調査に協力した中国側研究者を招聘し、
シンポジウムを開催して第 1 期の総括をおこ
なう。また、2 回分の調査記録は、個人情報
の問題などを処理して、公刊する方法を検討
する。

また、2 回の調査の成果は予想以上であっ
たが、南通や寧波など比較検討のためにも新
たに調査すべき地区が多数ある。そのため、
第 2 期プロジェクトの準備を進める。

(2) 地域エリートの日記の講読会は今後も
継続する。そのうち読解した部分を公刊する。
そのほか、これらの調査や講読によって得
られた知見にもとづく新たな江南地域社会
像、ひいては近現代中国像を構築するための
研究グループやシンポジウムを組織する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に
は下線)

[雑誌論文] (計 3 6 件)

- ① 田中比呂志、飯塚靖、小浜正子、川尻文彦、久保亨「江南百年プロジェクト杭州
会議 研究計画報告」、『近きに在りて』
第 52 号「特集：江南百年の研究」、83-89
頁、2007 年、査読無

[学会発表] (計 2 6 件)

- ① 田中比呂志「近代中国における『中央』
と『地方』」中国経済学会第 7 回全国大
会、2008 年 6 月 22 日、東京・一橋大
学
- ② 佐藤仁史「ライフヒストリーと江南
農村——太湖流域社会史口述調査
に即して」、中国研究データベース・
ワークショップ「オーラルヒストリー
と中国現代史研究—技法・記録・語り
—」、2008 年 6 月 21 日、東京・東洋文
庫
- ③ 高田幸男「中国の大学における『中央』
と『地方』」、駿台史学会大会シンポジウ
ム「近代化と大学—大学からみた『中
央』と『地方』—」、2007 年 12 月 8 日、
東京・明治大学

[図書] (計 1 1 件)

- ① 久保亨、土田哲夫、高田幸男、井上久士、
東京大学出版会、『現代中国の歴史—兩岸
三地 100 年のあゆみ』、2008 年、288 頁

[産業財産権]
○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]
ホームページ
<http://homepage2.nifty.com/jn100/>